

第32回県野営大会 群馬宝台樹キャンポリー通信

2025. 8. 9発行

総務部広報係

まずは設営。舞台裏紹介



いよいよ大会が始まります。

スタッフは、9時現地集合で設営開始。まずは、施設資材系のトラックから資材を降ろします。バケツリレー久しぶり！薪、マーキー、机、イスだけでこの量です。このほかにもそれぞれの係で資材が搬入されます。



搬入した資材で、入り口近くに受付と本部と設置。
スカウトの入場を待ちます。

ここでは、参加者の確認をし、スカウトと指導者の健康観察表を受け取り、プログラムガイドの配布をします。

設営の舞台裏 その2

食事の材料を配給する部署です。山のようなキャベツや大根を手際よく切っています。スタッフのための食事の用意もしてくれます。今回は、スタッフ奉仕のベンチャースカウトやローバースカウトにも食事を提供していました。豚丼も味噌汁も漬物もおいしかった～。右の写真は9日朝の配給です。場内プロの班、場外プロに行く班、指導者だけ残ったりときめ細かな対応が大変です。



開会式の準備をするローバースカウトたち。慣れない作業に手こずっていました。スクリーンの準備ができたので、次はリハーサル。県連旗を持つベンチャースカウトと班旗を持つ班長は、1時間近くかけて入念にリハーサルを行いました。



設営の舞台裏その3

設営を終え、打ち合わせをする救護班。準備段階から熱中症対策に余念がありません。8日は、看護師2名、整体師1名、奉仕のベンチャースカウト1名で救護にあたりました。下界と違い涼しく気持ちのよい環境のため、具合の悪くなるスカウトはいなかったようです。ちょっと安心。ここだけは、仕事が少ないのが一番。



16時から隊長会議。会議の始めに隊長へのねぎらいとして栄養ドリンクが登場。栄養ドリンクで乾杯した後は、真面目に会議です。野営管理部のテントでこれからの予定や変更点、明日の連絡など伝え、確認をしていきます。この後、隊長は隊に戻り、連絡事項を他の指導者や上班、班長に伝達です。



プログラム部です。プログラム部は、様々な資材が必要。ここに写っていない資材や明日搬入されるものもあります。場内プログラムの準備に奉仕スカウトとの打ち合わせに時間を割いていました。開会式もプログラム部の担当です。

